

太陽 いよいよ緯度が高くなつて、此の月の初めでも、赤緯は 22° 、月末には $23^{\circ}8'$ であるから、始めから終りまで、臺灣の頭上あるわけだ。赤緯の最高の日^日は21日22時40分、之れが勿論“夏至”である。其の時の太陽の位置は、“双子座”の西端の1番星に

1940年

6月の天象

極めて近い。平均太陽は、月初、真太陽よりも東にあつて、時差は2分以上であるが、14日には此の兩つの太陽の時差が無くなり、其の後は真太陽の方が東に出て、月末には時差が $-3分20秒$ 餘となる。カリントンの太陽面自轉週期は世界時刻 26.28 （日本標準時では26日15時43分）から第1161期が始まる。又、27日には金星が下合となる。

月 初めは有明けの月であるが、6日に新月となり、ブラウンの月相第216期に入る。11日が陰曆5月5日即ち“端午節”で、“獅子座”の西端に月齡5の月が輝やく。13日には上弦で、“獅子座”と“乙女座”との境界線上にある。20日は満月で、“射手座”の北邊にある。月末28日早朝は下弦で、“魚座”の春分點の附近にある。又、14日の夜半は地球へ最近、27日の夕刻は地球から最遠の距離となる。遊星との關係は、3日朝の刻に木星と、3日午後に土星と、又4日の午後に天王星と會合するが、何れも曉天の景である。又、7日には水星、8日には金星及び火星と會合するが、之れ等は日没後の西天の景である。月末30日には再び木土兩星と曉天に會する。

水星 月初めから宵の星として西天に現はれ、漸次に離角を増し、24日には極大離角 $25^{\circ}18'$ となる。12日には金星の北 $1^{\circ}27'$ 、又、17日には火星の北 $26'$ にまで近づく。

金星 月の初めは極大光輝を過ぎたばかりのスプラシイ宵の明星で、西天に君臨するが、急に太陽に近づき、27日6時に下合となり、其の後は久しぶりで曉けの明星となる。此の月末の頃、下合の前後に於いて、金星の姿が如何に變化するか？ 望遠鏡を有つ人々の大に奪起すべき機會である。本號の口繪を参照されよ！ 7日15時には火星の北 $22'$ に来る。

火星 前月來、日没後の西天にあつて、徐々に太陽に近づきつつあるし、地球からの距離も遠く、光度も弱いので、觀望には不適である。7日には金星と會合し、又、17日には水星と會合する。

木星 毎日日出前の東天に現はれ、光輝も高度も漸次大きくなる。3日早朝と30日日没後に月と會合する。望遠鏡を有つ人々には表面の模様や、衛星の陰顯の觀測も可能となる。

土星 毎日毎夜、木星のすぐ東隣に仲良く並んで現はれ、曉天の觀測には漸

次好都合となる。3日と31日とには、月と會合する。

天王星 木星や土星のあとから毎日早朝の東天に現はれるけれど、未だ觀望期には入らない。

海王星 日没の頃、漸く子午線を通過したばかりなので、觀望には不便でないけれど、勿論、望遠鏡と詳しい星圖とが入要である。

冥王星 “蟹座”のι星の南を順行中、觀望は困難である。

流星 下旬には有名なキンネケ彗星に伴ふ微光流星群が現はれる。しかし、熟練家でなければ、觀測は困難であらう。

黃道光 一年中、最も淡い時期であると共に、東天にも西天にも見えることがある。變り目のシーズンである。

六月の星座 一年中で最も晝が長く夜が短い時期であるから、星座も20時以後にならないと充分には見えない。まづ日没後の天頂には、北斗七星の劍先きのカ一ヴの延長線上に偉大なる“牧夫座”と、其の首星アクトウル星とが見える。“大熊”も“小熊”も“龍”も皆北天に見えてゐるが、此等が毎夜、時刻のたつと共に、時計の如く廻轉する有様は見事なものである。“牧夫”の東方からは“ヘルクレス”、“蛇”、“蛇遣ひ”等が現はれ、“蝸”も亦その頭部を地平線上に現はす。

支那の星座 二十八宿中のうち、こゝには“虛”から“胃”までを圖示する。前の第(235)頁に“角”から“箕”までを圖示したので、其れを支那星座第5圖とし、之れを第6圖としたのだが、都合上、多少重複したのもあり、又、中途で若干缺けたものもある。何れ、皆が完成するためには、適當な機會に補正するつもりである。讀者は、あせらず、ゆつくりと此うした支那星座を一つ一つ覚えへ頂きたい。味へば、西洋星座に比べて、全く違つた味はひのあるものである。



支那星座の圖 (6)

六 月 の 天 體 曆 表

日附	七曜	正午月齢	干支	天 界 現 象 (日本標準時)	ユリウス日 (21時)
1	土	24.6	乙亥	興亞奉公日 双子 X 星が極大	2429782.0
2	日	25.6	丙子	鶩 Z 星が極大 牧夫 R 星と RR 星極大	783.0
3	月	26.6	丁丑	{木星と月と會合(3時) 土星と月と會合(14時)	784.0
4	火	27.6	戊寅	{海王星が西留(7時) 天王星と月と會合(16時)	785.0
5	水	28.6	己卯	金星が西留(9時) 蝎 RR と牧夫 S 星極大	786.0
6	木	0.1	庚辰	{“芒種” 新月(10時05分) 牛 R と海豚 R 星が極大	787.0
7	金	1.1	辛巳	{金星と火星と會合(15時, 金星 22' 北) 水星と月と會合(22時)	788.0
8	土	2.1	壬午	{金星と月と會合(14時) 火星と月と會合(15時)	789.0
9	日	3.1	癸未	RS Her 極大 時計 T 星が極大	790.0
10	月	4.1	甲申	時の記念日 烏 R と鶩 RU 星が極大	791.0
11	火	5.1	乙酉	端午の節句 入梅 牧夫 Z と鶩 S 星が極大	792.0
12	水	6.1	丙戌	{水星と金星と會合(11時, 水星が 1°24' 北) RR Cep 極大	793.0
13	木	7.1	丁亥	{上弦(10時59分) 牛 W 極大 海王星と月と會合(15時)	794.0
14	金	8.1	戊子	天秤 S と小熊 U と龍 U 星極大	795.0
15	土	9.1	己丑	月が地球に最近(0時) 獅子 RY 極大	796.0
16	日	10.1	庚寅	ST And 星が極大	797.0
17	月	11.1	辛卯	水星と火星と會合(10時, 水星が 26' 北)	798.0
18	火	12.1	壬辰	RY Hya 極大 蛇遺ひ X 星が極大	799.0
19	水	13.1	癸巳	U Cra と RT Cep 極大	800.0
20	木	14.1	甲午	満月(8時02分) U Scl 極大	801.0
21	金	15.1	乙未	“夏至”(22時37分) 定規 T 極大	802.0
22	土	16.1	丙申	RS Cen 星極大	803.0
23	日	17.1	丁酉	兎 X 極大	804.0
24	月	18.1	戊戌	水星が東方極大離角(24°) 麒麟 V 星極大	805.0
25	火	19.1	己亥	天王星が 8 等級星に接近 RS Hya 極大	806.0
26	水	20.1	庚子	RW Peg 極大	807.0
27	木	21.1	辛丑	{金星が内合(6時) 月が地球から最遠(20時)	808.0
28	金	22.1	壬寅	下弦(3時13分) S Ori 極大	809.0
29	土	23.1	癸卯	琴 S 極大 S Mic 極大	810.0
30	日	24.1	甲辰	木星と月と會合(22時) RT Cen 星極大	811.0